

各位

平成25年5月13日

会社名 株式会社ファルテック

代表者名 代表取締役社長 戸井田 和彦

(コード番号 7215 東証第二部)

問合わせ先 取締役常務執行役員 加藤 浩

TEL. 044-520-0290

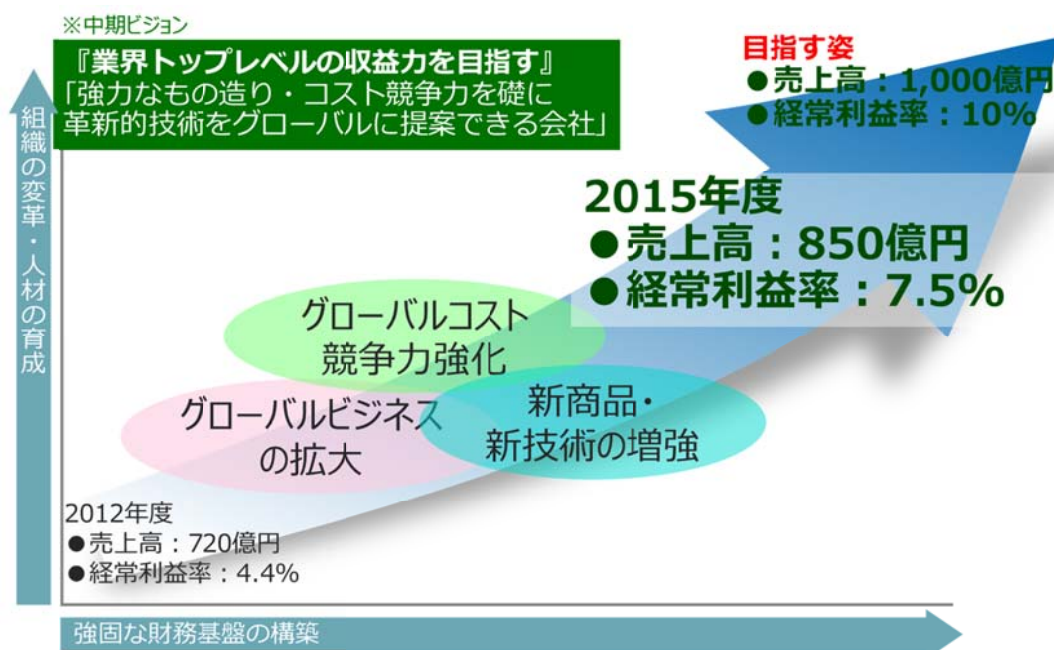
ファルテックグループ「FY13中期経営計画（2013年度～2015年度）」について

ファルテックグループでは、この度、2013年度から2015年度までの中期経営計画を策定しましたので、その概要についてお知らせいたします。

1. 中期ビジョン

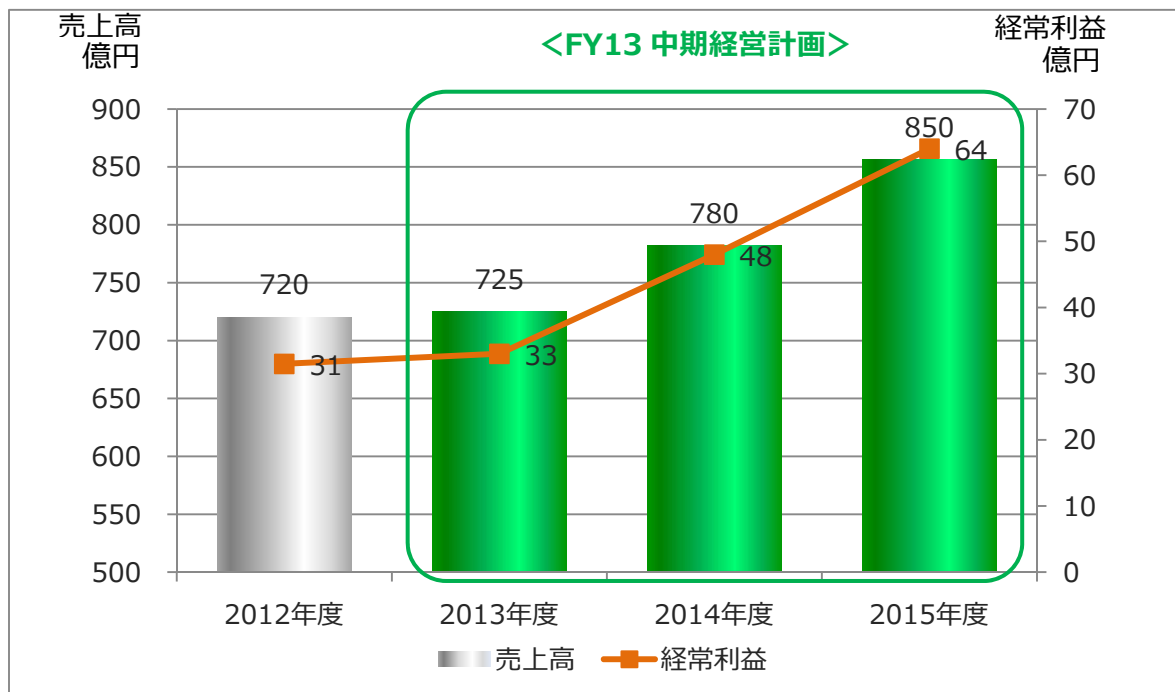
『業界トップレベルの収益力を目指す』

—強力なもの造り・コスト競争力を礎に革新的技術をグローバルに提案できる会社へ—



2. 「FY13 中期経営計画」の目標数値※

2015 年度に「売上高 850 億円」「経常利益率 7.5%」を計画しております。



単位：億円

	2012 年度実績	2013 年度計画	2014 年度計画	2015 年度計画
売上高	720	725	780	850
営業利益	32	36	50	65
経常利益	31	33	48	64
当期純利益	20	20	31	42

経常利益率	4.4%	4.6%	6.2%	7.5%
総資産経常利益率	6.4%	6.7%	9.0%	11.0%
自己資本比率	25.6%	27%以上	30%以上	35%以上

※当社グループはローリング中計を採用しており、中期経営計画の目標数値については毎年見直しを実施しております。

3. 中期ビジョン達成に向けた重点戦略の5本柱

1) グローバルビジネスの拡大

当社グループの売上高拡大は、3軸戦略（どのお客様に、どの商品を、どの地域で）を中心とした成長戦略の推進により実現していきます。

3軸戦略に基づき、既存海外拠点の売上拡大を図るとともに、中国およびタイにリソースを集中的に投入し、自動車部品製造・販売会社を新たに設立、グローバル供給体制の増強を進めております。

また、アライアンスの活用によりグローバルで開発・生産できる体制を構築し、グローバル車種の受注を拡大しております。

グローバルビジネス拡大に伴い、海外子会社の重要性が増す中で、事業軸と機能軸の観点からのグループマネジメントをこれまで以上に強化しております。

地域別の売上高は以下の通り推移する計画です。

【所在地セグメント別売上高計画】

単位：億円

地 域	2012年度		2015年度		備 考
	実 績		計 画		
	売上高	シェア	売上高	シェア	
日 本	605	84.0%	634	74.6%	
欧 州	53	7.3%	53	6.2%	
北 米	25	3.4%	42	5.0%	2012年度：ジョージア工場稼働
中 国	28	4.0%	86	10.1%	2012年度：広東省工場稼働 2014年度：湖北省工場稼働 →2015年度本格稼働
ASEAN	9	1.3%	35	4.1%	2013年度：タイ工場稼働 →2015年度本格稼働
合 計	720	100.0%	850	100.0%	

2) 新商品・新技術の増強

3軸戦略に基づき新商品・新技術の増強に資源を集中投入、オンリー1技術の創出とNo.1商品の開発を追求することで、顧客への提案活動を積極的に実施してまいります。

5つのコア技術（成形・加飾・組立・ライティング・金属加工）を3つの開発方針（表面処理(魅せる技術)・コスト競争力・環境対応）に沿って強化・発展させていき、No.1商品（コンバージョン※1、ルーフレール、電装品、SUSモールド）を育成していきます。

特に、量産部品・コンバージョン・アクセサリーの全てをクルマのモデルライフサイクルとして一括提案出来る当社独自の強みを活かし、コンバージョンをグローバルに展開し、量産部品・アクセサリーの受注拡大にもつなげていきます。

※1 コンバージョン

クルマの外観を開発期間、コストを抑えて比較的手軽に変更できる手法で、当社グループでは企画－デザイン－開発－生産－品質まで一貫して対応しております。

3) グローバルコスト競争力強化

業界トップレベルの収益力に向けて、ファルテックものづくりパッケージの活用を中心に、グローバルコスト競争力強化に徹底的に取り組んでまいります。

ファルテックものづくりパッケージはファルテック・プロダクション・システム※2と FALTEC DASH 1/2 活動※3により構成されています。

※2 『ファルテック・プロダクション・システム』

ファルテックグループ共通で実施している、生産・技術・製造マネジメントシステムです。

※3 FALTEC DASH 1/2 活動

スペース半分・リードタイム半分を合言葉に取り組んでいる当社グループの活動です。スペースとリードタイムを効率的に活用することで経費削減につなげ収益力を強化します。

4) 強固な財務基盤の構築

売掛金の早期回収・在庫の削減・設備投資の厳選等により資金効率を高め、有利子負債の圧縮を図り、強固な財務基盤を構築してまいります。

財務の安全性確保のため自己資本比率を 2012 年度 25.6%→2015 年度 35%以上に高めることを目標値として設定しております。

5) 組織の変革・人材の育成

意思決定及び情報伝達のスピードアップを図るため、組織をスリム化して情報伝達の節が少なくなる『フラットな組織』を構築しております。

またグローバル化を加速させるために、積極的な人事ローテーションや教育プログラムの充実、外国籍社員の採用等を促進しグローバル人材の育成に努めると共に、女性活用等ダイバーシティを推進します。

4. 重点戦略の5本柱から導き出される9つの主要方策

- ・ 3軸戦略（どのお客様に、どの商品を、どの地域で）を中心とした成長戦略の推進
- ・ コア技術の向上・先行開発の強化
- ・ コスト構造改革
- ・ 『ファルテック・プロダクション・システム』のグローバル展開
- ・ FALTEC DASH 1/2 活動の推進
- ・ 購入品原低（LCC調達※4の加速 他）
- ・ 新車原価企画活動の推進
- ・ グローバルマネジメントの強化
- ・ グローバル人材育成／体制強化による基盤整備

※4 LCC調達

グローバルでより安価な取引先からの調達

5. 重点戦略の5本柱と9つの主要方策の相関

重点戦略の5本柱	関連する主要方策	目標数値との関連
1) グローバルビジネスの拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3軸戦略を中心とした成長戦略の推進 ・ コア技術の向上・先行開発の強化 ・ 新車原価企画活動の推進 ・ 『ファルテック・プロダクション・システム』のグローバル展開 ・ グローバルマネジメントの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売上高 ・ 営業利益
2) 新商品・新技術の増強	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3軸戦略を中心とした成長戦略の推進 ・ コア技術の向上・先行開発の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売上高 ・ 営業利益
3) グローバルコスト競争力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ コスト構造改革 ・ 『ファルテック・プロダクション・システム』のグローバル展開 ・ FALTEC DASH 1/2 活動の推進 ・ 購入品原低（LCC調達の加速 他） ・ 新車原価企画活動の推進 ・ グローバルマネジメントの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業利益 ・ 経常利益
4) 強固な財務基盤の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ FALTEC DASH 1/2 活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総資産経常利益率 ・ 自己資本比率
5) 組織の変革・人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ グローバル人材育成／体制強化による基盤整備強化による基盤整備 	

【将来の見通しに関する注意事項】

このプレスリリースは2013年5月13日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれています。

世界経済、為替の変動、天災等の不確定要因により実際の施策、業績が記載と異なる可能性があります。

以上